



No.436

編集発行人 針谷宏一
治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟

〒113-0034 東京都
文京区湯島2-4-4
平和と労働センター・全労連会館

電話 03(5842)6461
FAX 03(5842)6462
http://www7.plala.or.jp/tian
定価 50円

治安維持法廃止65周年 「特高警察」の再来を許さず

主な記事

- 各地方ブロック会議開く……………2
- 各地の同盟本部大会……………4
- 顕彰碑／中西 功・神奈川県……………5
- 時の焦点／治安維持法廃止65周年……………5
- 抵抗の群像／高橋 実・岩手県……………6
- 同盟歌壇／碓田のぼる選……………7
- 北から南から……………7

10月13日は治安維持法が廃止された日です。それから65周年を迎えました。

治安維持法が制定された1925年4月22日とともに、同盟犠牲者はじめ、すべての国民の目と耳と口と足とが封じこめられ抑圧されて、侵略戦争に追いやられた、日本の歴史の負の記憶の日であります。

治安維持法を楯に、逮捕、拷問、虐殺、虐待、獄死、陵辱等の凶悪な蛮行は全国に張りめぐらした特高警察による権力犯罪でした。「われわれは天皇の警察官。超法規的行為は許されている」と。それはまた確信犯としての権力犯罪でした。

現行憲法下の今日、大阪地検特捜部の証拠いんめつの大事件が発覚し、国民の耳目を集め震撼させています。特捜部は戦前の特高警察と重なり合って聴こえ、連想されます。

検察と警察の違いはあれ、忌まわしい権力犯罪の機関としての共通性。権力機関が証拠をいんめつしたり、デッチ上げしたりして、犯罪者を仕立てて抹殺をはかる謀略は暗黒政治そのものです。

地方ブロック会議、各地で開く(上)

署名・組織・顕彰の分科会で

北海道

9月27～28日、札幌市定山溪温泉に全道各支部から27名が出席して開催。参加者ははじめに札幌西区平和の滝にある相沢良の碑を訪れ、黙祷・献花をして彼女の業績を偲びました。相沢は1930年代、弾圧で壊滅した全協組織を札幌・日高の10余の経営に再建し、捕らわれ獄中で発病、仮釈放直後25歳で死去しました。

会議では柳河瀬精本部会長が「同盟運動を国民的運動へ発展させ、正しい歴史認識を普及するつもりで対話・署名、紹介議員を広げましょう」と訴え、宮田汎道本部会長が、北海道の同盟の優れた活動と課題を報告したあとと署名、組織、顕彰の3分科会で討論。夜は楽しく交流しました。

2日目は最初に宮田会長が日本の韓国朝鮮植民地化に対する責任・犯罪についてスライドで講演。総括討論では「会員拡大で集中する

期間を作っては」「不屈読者の拡大を」「日弁連決議で学習を」など積極的な発言が続きました。

(宮田 汎)

4県で署名目標を突破

東北ブロック

第20回東北ブロック会議は、9月13～14日、宮城県の作並温泉で開かれ、青森県5、秋田県15、山形県24、福島県4、宮城県29、岩手県5の計84人(女性19人)と中央の小池莊市事務局長が出席し、過去最高の参加となりました。初参加の会員も多く、同盟活動について学ぶ絶好の場でした。

宮城県の大川芳夫会長(98歳、2度投獄された治安維持法犠牲者)の歓迎の挨拶に参加者は満場の拍手でこたえました。

近江谷昭一郎中央本部副会長の

報告を受けて国賠署名と地方議会請願、犠牲者の顕彰と名簿づくり、会員拡大と支部の確立、支部ニュースの発行、女性部の活動、学習な

どについて24人が発言した後、自由討論でさらに深めました。

ブロック会議を節目に各県の活動が前進していること、国賠署名では4県が目標を達成したこと、会議で学んだこと、感動したこと、力をに、さらに前進しようとして確認しあいました。

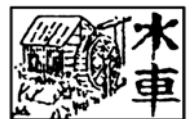
(牛山靖夫)

国民参加の署名運動として

北信越ブロック

会議は9月14～15日、かほく市旅館「やまじゅう」で開催。長野県12名をはじめ5県から33名が参加。柳河瀬精本部会長は「今、同盟の運動に求められているのは、情勢に対応した国民的運動へ広めるために署名運動が果している重要な役割とともに多種多様な活動、とくに同盟が強調する歴史認識を広める活動が大切です。苛酷な治安維持法弾圧、女性たちへの言語に絶する弾圧の事実を、発信することです」と呼びかけました。

提起を受けて各県からの発言が続き、女性も参加した長野からは「最も初歩的な基本として、同盟の署名は多くの国民が参加してい



今年「韓国併合」

100周年。菅内閣は「首相談話」を発表し、植民地支配がもたらした多大の損害と苦痛に対して謝罪▼36年に及ぶ植民地時代を語る時、治安維持法を抜きに語ることはできません。本土では稀代の悪法として猛威をふるいましたが、植民地を維持するための悪法でもあったのです▼朝鮮への公布・実施は、本土の直後、1925年5月7日に天皇の命令「勅令」で發布され、朝鮮全土で猛威をふるいました。

それは適用の第1号が本土よりも50数日も早く、また、本土にはなかった死刑が実施されたことでも分かります▼本土でも在日朝鮮人だけでも検挙者が4826人。虐殺、獄死者名簿にも名が目立ちます▼いま、韓国では日本植民地時代として表彰され、懲役1年以上の犠牲者に年金が支給されています。▼戦後補償問題での歴代日本政府の後進性があらためて国際的にもきびしく問われています。(池)

る事業です」と発言。新潟の代表は、今年は「戦争と平和」展を実行委員会で開催、成功したと発言。石川の代表は映画『鶴彬—こころの軌跡』上映は県民に大きな影響を与えた。この経験を生かして人権「弁護士布施辰治」上映会の準備を進めている。富山では朝日町の革新町長が当選するという画期的な勝利があり、体制強化をはかりたいと発言しました。福井県からは、財政はきちんと100%上納していると強調。石川の参加者から「もつと絞り込んだ議論が必ずではないか」と感想がありました。(北口吉治)

活き活きした支部活動

近畿ブロック

国賠同盟近畿ブロック会議は、9月28・29日、大阪市内で開催され54人参加。京都府は会員がここ数年400人前後だったが568人。総会で1000名の目標。兵庫県尼崎支部は「メジャーな運動にしたい」。3年間で20数名増やし、現在74名に。滋賀県は署名実績を増やし、目標は4000筆。ブロッ

ク会議にむけて会員3名増やし現在134名。奈良県は、この間60名増やし200名になった。和歌山県は10支部、毎年支部総会を開いているのは2支部。大阪府三島支部は会員が7年前100人から現在170人、180人へ。滋賀県湖北支部は定期的に事務局会議、『不屈湖北版』の発行。和歌山県顕彰部が調査活動。兵庫県は全国72名の国会請願紹介議員のうち7名の紹介議員を確保した。また同盟規約改定問題についても活発な討論を展開しました。(塩田一行)

来年はすべての県で目標達成を

中国ブロック

中国ブロック会議は9月25・26日の両日、広島市で開催されました。冒頭、中央本部の柳河瀬精会長が「シベリア抑留者問題の解決や中国人強制連行、労働者問題など裁判闘争では勝利できなかったが、政治的解決を求める方向も広がっています。困難な戦後補償問題も世論の結集で前進できることが示されているなか、私たちの謝罪と賠償を求める運動も展望は可



能です」と挨拶しました。討論では、戦前は、戦前の海軍内の反戦闘争である「聳ゆるマスト」

の顕彰や被爆地広島運動、さらに岩国基地の再編反対のたたかいなどが報告されました。また、同盟活動の経験では、鳥取と岡山の女性たちがリレー方式で自分たちの1年間の活動を報告して参加者に元気を与えました。参加者43名(うち女性13名)のほとんどの人が発言するなど活発な交流でした。「来年のブロック会議ではすべての県が目標を達成して再会しましょう」と申し合わせて会議は充実したムードの中で終了しました。(林 洋武)

つねに青年との交流も

四国ブロック

会議は9月11・12日、柳河瀬精

中央本部会長を迎えて、香川県高松市で開催されました。参加者は24名、うち女性10名。会長からの報告では、歴史認識をただす同盟の活動に今若い人、幅広い人々の参加が必要なこと、国会請願で紹介議員の減少から前進に向かうために、秋田県などの経験に学ぶように訴えられたことが印象的でした。

各県本部の活動経験に学ぶべきことも数多くありました。高知は会員拡大においてつねに青年との交流会をもち、広げていること、犠牲者の顕彰では県として9冊目の書籍『特高の弾圧に抵抗した記録』を発行しています。徳島は学習を大切にしており、10月には女性部の結成総会が開かれます。愛媛は署名の経験を交流する場を持ち、目標をいつまでに、どれだけやるか点検しながら取り組みを飛躍させています。香川は支部と協力して自治体の意見書採択に向けて合併後の市議会に働きかけています。県本部の理事会体制の確立という課題をかかえ、その克服が急務です。(田中和夫)

各地で同盟本部大会ひらく

《続》

議会陳情を重視する

神奈川県

第28回県本部総会は8月8日、横浜市内で朝11時から開催、50名が出席。増本一彦会長の挨拶では「困難な時こそ同盟の出番、野党の自民、公明も含む地元からの議員要請活動」を強調されました。討論では14名が発言。陳情中の川崎市議会での意見書採択要請など地方議会要請を強める、女性部活動の強化、新発行の書籍『神奈川県治安維持法犠牲者』を普及して顕彰・陳情・学習に役立てる。目標700名を突破した会員拡大は引き続き強める。署名目標を達成した川崎支部に続き他支部でも目標達成をめざす。最後に「衆議院比例定数削減に反対する」決議採択。会長増本一彦、事務局長代行小原靖らを選出。(富矢信男)

柳河瀬精中央本部会長を迎え、18名の参加で開催。事前の論議の中で、柳河瀬会長を迎えるにあたり、「中央の熱意に」「会員拡大目標の達成」で応えようと奮闘。11名を拡大し1名の超過達成の中で開催できました。

総会での議論は白熱し、同盟運動を国民運動にまで発展させることとの意義、県役員会の後で行われる郷土の弾圧の歴史の学習(連続24回)が「力」になっていることなど、予定を30分もオーバーする盛況さでした。

閉会の挨拶で小川仁副会長は、「今年の目標180名をやりきり、1日も早く200名台の同盟にしよう」と決起をよびかけました。大会は田辺敏光会長、石丸あきじ会長代行をはじめ16名の役員を選出しました。(高取国勝)

支部活動の再強化を確認

山梨県

第23回県本部総会は8月7日、

8月21日、第27回大会を開催。

静岡県

柳河瀬精中央本部会長を迎え、情勢と同盟の任務等について講演をいただきました。

大会では、前年の請願署名が後退した要因について分析し、組織的な支部活動の展開に弱点があったことを確認。既存支部の体制整備、未組織地域での支部確立をはじめ、日常的な支部活動について確認しました。

また戦後補償を闘う人たちの協力・共同を追求する。戦後最大の思想弾圧であるレッド・パージ反対同盟との共闘も確認しました。新会長に漆畑長一、新事務局長に土屋賢を選出しました。(土屋賢)

今同盟運動の原点に立つ

石川県

9月4日金沢市で開催。新年度運動方針など決定しました。開会あいさつで北口会長が「昨年総選挙後の国民の政治意識が大きく変化しており、大いに議論しみんなの方針を作りましょう」と提起。

柳河瀬精中央本部会長が挨拶され、民主党政権の軍事面での動向など「同盟の『二度と戦争と暗黒

政治許すな』の立場で同盟運動の原点に立ち、国民運動へ発展させよう」とよびかけました。

総会開催前に映画「鶴彬 こころの軌跡」に取り組む飯坂洋介氏が講演されました。

(北口吉治)

地方議会の意見書採択を機に

宮崎県

9月26日、宮崎市民プラザで第21回総会を開催。総会は女性部結成や10年ぶりの2地方議会での「意見書」採択などの成果を確認しました。出席者から「意見書採択が今後の運動の足がかりになる」「女性部で学習しながら理解を深めてきている」「若い人を含めて活動の幅を広げ、学習に力を入れること」「治安維持法のバックボーンに天皇制の問題」など、活発な討論が続きました。同盟の存在を知らせながら、4千筆の署名運動、会員と支部づくりをめざすことなどを決めました。

役員は新しい幹事を加え、会長、事務局長、他の幹事は再任されました。(天水貞照)

顕彰碑

探訪

世界人類の解放のために 最後の血を献げん 中西 功

1910年9月18日、三重県多気郡西外城田村土羽（現多気町）の小地主の次男として生まれる。

県費留学生として上海の東亜同文書院に入学。在学中、学校民主化運動、中国問題研究会をへて中国共産主義青年団に入団、日支闘争同盟に参加して停学処分。上海事変では反戦運動の一環として学



生（現多気町）の帰国運動に参加し、中途退学して東京に戻り、日本プロレタリア科学研究所の中国問題研究会に参加、弾圧され検挙。34年、満鉄39年、満鉄調査部支那抗戦力調査委員会に加わって活動、42年6月、上海で検挙。敗戦後の45年9月、死刑を求刑、無期懲役の判決。同年10月10日出獄。46年6月、日本共産党に入党、47年、参議院議員に当選。党中央の労働組合対策部、58年、神奈川県委員長、60年安保闘争でハガチー訪日阻止闘争を指導、逮捕された。63年、県委員長辞任。中国の「文化大革命」を批判。73年8月18日、胃癌のため死去。『死の壁の中から』（1971年）ほか中国革命・日本革命に関する著書多数。なお墓所は鎌倉靈園（神奈川県 富矢信男）

生の帰国運動に参加し、中途退学して東京に戻り、日本プロレタリア科学研究所の中国問題研究会に参加、弾圧され検挙。34年、満鉄39年、満鉄調査部支那抗戦力調査委員会に加わって活動、42年6月、上海で検挙。敗戦後の45年9月、死刑を求刑、無期懲役の判決。同年10月10日出獄。46年6月、日本共産党に入党、47年、参議院議員に当選。党中央の労働組合対策部、58年、神奈川県委員長、60年安保闘争でハガチー訪日阻止闘争を指導、逮捕された。63年、県委員長辞任。中国の「文化大革命」を批判。73年8月18日、胃癌のため死去。『死の壁の中から』（1971年）ほか中国革命・日本革命に関する著書多数。なお墓所は鎌倉靈園（神奈川県 富矢信男）

本号巻頭で紹介されているように、10月から暮れにかけては「治安維持法廃止」の記念の時期。ホロコースト（大量虐殺）を犯したドイツ・ナチズムとともに、世紀の悪法と言われた治安維持法。1925年から1945年敗戦後までの21年間、別表にみるように、特高警察、思想検察・偏向裁判の一体となった天皇制裁判所体制により、残忍かつ凶悪な拷問を伴って思想弾圧、人権侵害が強行されました。

時の焦点

戦争が終わったのが8月15日。治安維持法犠牲者はじめ投獄されたいわゆる「政治犯」が解放されたのが10月10日、治安維持法廃止の勅令と公布が10月13日。『官報』による公報掲載が10月15日、釈放者への資格回復は押し詰まった12月29日。

治安維持法の廃止

「日本国政府は日本国民の間に對する民主主義的傾向の復活強化に對する一切の障害を除去すべし。言論・宗教・思想の自由ならびに基本的人権の尊重は確立せらるべし」と規定されています。

皇族東久邇宮を首班とする当時の終戦処理内閣は、天皇制維持に腐心して、政治犯を釈放しないばかりか、戦後も治安維持法の存続をたくらみました。戦後になつてからの、たとえ「横浜事件」の有罪確定判決は、その反動的政勢の証明ともいえます。

ポツダム宣言の重大な不履行に気づいた占領軍の命令により、2カ月過ぎてようやく日本政府は勅令を出して政治犯の釈放と治安維持法を廃止したのでした。（元）

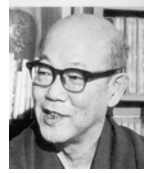
（註）治安維持法犠牲者一覽

治安維持法犠牲者はじめ、戦争抵抗者たちは戦争が終わっても2カ月も3カ月も獄中に置き去りにされたのです。

天皇制政府が無条件降伏をして受諾したポツダム宣言10条2項に	送検者数	1503人
	逮捕者数	75681人
		数10万人

明らかかな虐殺死 80人
拷問・虐待が原因で獄死 114人
病氣その他の理由による獄死 1503人

抵抗の群像



結核から村民を救い、表彰と

弾圧をうけた 高橋実

いま「豪雪・病氣・貧困」から村民の生命を守った岩手県沢内村の深澤辰雄村長を描いた映画『いのちの山河』が全国で上映され、大きな感動をひろげています。

学生時代に投獄

戦前、同じように岩手県志和村(現紫波町)でも日本初の集団検診を実現し、死の病といわれていた結核から全村民を救った高橋実医師がいます。

高橋医師(明治45〜昭和64年)は治安維持法で2度弾圧された犠牲者であり、戦後は民医連運動や宮城県の間盟同盟の会長としても活躍しました。

高橋医師は福島県に生まれ、東北帝国大学医学部に入学しました。共産青年同盟に加盟して「社会学研究会」で活動したため、検挙・投獄されて約2年間、警察や監獄

に拘留されますが、有罪判決は執行猶予となり、復学が認められて大学を卒業しました。

その後、保護観察処分による特高警察の監視下で、昭和13(1938)年6月〜昭和16(41)年4月まで志和村の産業組合診療所に勤務しました。「自分たちの健康は自分たちで守ろう」とつくられた診療所で、正式には岩手県医薬購買販売利用組合盛岡病院志和診療所といいました。

みるみる結核患者が減った

当時、多くの農家には隅の方に明かり窓があるだけの畳2、3枚の薄暗い部屋があり、脳溢血で半身不随となった患者や肺結核の末期患者は、下に厚くワラを敷いた万年床に横たわっている状態でした。また小学生の結核感染が大きな問題になっていました。

高橋医師は村長や校長を説いてまわり、全学童の検診を実現し、重患は盛岡の病院に入れるように奔走しました。それを見て役場も村民も全村検診を受け入れることになり、結核患者はみるみる減って行きました。こうしてツベルクリン反応の集団検診とBCG接種は敗戦まぎわまで、日本で唯一の例として続けられたのです。

高橋医師は全村民集団検診の結果をまとめ、『東北一純農村の医学的分析』を発刊しました。さらに朝日新聞東京本社から出版されて、高い評価をえました。

表彰されて、投獄されて

このため昭和18(1941)年には財団法人中央社会事業協会の会長清浦圭吾と社会事業文獻審査委員会の委員長穂積重遠の連名で表彰されました。清浦は総理大臣や枢密院議長の経験者、穂積は東

京帝国大学の法学部長でした。当時は真珠湾攻撃の直前で、農村に結核がまん延し、労働力と兵力が損なわれることに危機感をもった支配層も、高橋医師の著書の

科学性を認めたのです。ところが翌年、同じ著書が治安維持法に違反するとして高橋医師は検挙・投獄され、懲役2年(執行猶予)の判決を受けました。

判決文の理由は「共産主義的観点より農村保健衛生問題を分析し、農村疾病就中肺結核は専ら我が国資本主義経済機構の矛盾に原因するものと看做し、単行本として発行し、以て一般大衆の共産主義的啓蒙に努め」たためでした。

一方では「社会事業の進展に資する処甚大」として表彰し、他方では治安維持法に違反するとして弾圧する、これほど理不尽なことはありません。

著書には「紀元二千六百年(1940)7月7日、事変(日中戦争)4年目に入り、日本の運命がより強固になろうとする記念日にあたり脱稿す」とありました。裁判長から「この言葉は最も痛烈な皮肉か」と訊問されたそうです。

戦後、秋田県の中国人強制連行の「花岡事件」を初めて公表したのも高橋医師でした。(岩手県本部署務局長 牛山靖夫)

同盟歌壇
る選

碓田のぼ

来夏まで用無き浴衣洗われて干し場に躍る親子揃いて

岐阜県 和田 昌三

菅、小沢あたかも日本を正すごと競えば島ふくろうは鋭き眼をする

静岡県 江川 佐一

老二人猛暑の夏をやつと生く涼しき秋の来るを待ちつつ

大分県 渡辺 幹生

焼夷弾の火の海逃がれし記憶もてばイラク・アフガンの戦火に怒る

福井県 元山章一郎

茜さすネバの川辺にオーロラ号燿う刻よ雄叫び秘むる

北海道 棟 徹夫

熱中症にもならず過ごしき八月もあとしばらくと吾を励ます

新潟県 柳川 月

キューバにてゲバラの妹医師として「健康は権利」ときつぱりと言う

新潟県 加茂川ハル子

八月半ば富士八合目鳴神が眼下の雲海貴くを視る

東京都 すゞ木すみ江

努力すればわれも使える時間あり「寝たきり防止の体操」を読む

和歌山県 中平 喜祥

永井智雄反戦反ファシズムを貫きしと『不屈』で読みて敬慕深まる

京都府 須田 稔

引き揚げん兄迎えんとの駅通い雪の夜また空し母悔しがらる

鳥取県 大久保禮吉

〈選のあとに〉短歌は、自分の感動を表現する詩型式です。こ
とがらを歌うものではありません。自分の感動を表現すると
同時に、その感動が読者にしっかりと伝わっていくことが必要
です。感動を深く、新鮮に、個性的に表現してこそ、読者と

北から
南から

猛暑に負けなかった女性パワー
第56回日本母親大会でアピール



各県本部や女性責任者には大変苦
労をかけたと思います。開催県の
福島同盟本部では、母親大会に総
動員されている女性の分を男性陣
が引き受けて活躍してくれたのも
嬉しいことでした。

大会当日、全体会の壇上一杯41
人がそろいのゼッケン、同盟女性
部の横断幕、のぼり旗で並び、大
阪の長野富子さんが気迫の訴えを
しました。開場前や休憩時間には
黄色いゼッケンの女性会員が酷暑
のなか署名に動く姿が目立ちまし
た。分散会の「憲法・国民主権の
生きる国」では同盟員が司会を担
当し、参加会員はそれぞれの立場
から発言し、同盟の主張が 申し
合わせ にも盛り込まれました。

東京、静岡、大阪、岐阜、高知の
女性部の応援で参加者は41名、署
名数1255筆、カンパ2600
円、チラシ配布450枚の行動結
果になりました。全国の皆さん、
本当にありがとうございました。

(同盟青森県・高杉さと)

権力の野蛮な事件を忘れない

亀戸事件87周年 犠牲者追悼のつどい

「関東大震災から87年 亀戸事件追悼会」が9月5日、「亀戸事件犠牲者の碑」がある東京都江東区の赤門浄心寺で行われ、約50人が参加、権力による弾圧を二度と繰り返させないことを誓い合いました。主催は実行委員会。

追悼会では、同盟中央本部の山崎元副会長はじめ、日本共産党の畔上三和子都議、日本民主青年同盟の林竜二郎中央常任委員、関東大震災朝鮮人犠牲者追悼式実行委員会の石橋正夫さんがそれぞれ追悼の言葉をのべました。

なお、山崎副会長の追悼の言葉は、『治安維持法と現代』2010年秋季号に掲載の予定です。

民主主義の旗を掲げて闘った西原秀一 〓 長畑龍介、「秋田共産党弾圧事件と土地を農民への闘争」 〓 近江谷昭二郎、「京大俳句事件のこと」 〓 岡本康、「市川正一の遺体は東北大医学部の朝鮮人学生によって発見された」 〓 井上學、「歴史に刻まれた崇高の60年―撫順戦犯管理所60周年記念式典に招かれて」 〓 倉田富士雄など、政局の焦点から治安維持法弾圧まで読み応えのある論稿多数。ご期待ください。定価1000円。

政局の焦点から実証・治維法弾圧まで多彩な論稿 乞うご期待 「治安維持法と現代」2010年秋季号

東ひろたか実行委員長が、「軍と警察が10人を連行し、裁判も何も無く、有無を言わず殺すという野蛮な事件を忘れない。国による補償を求めていく起点にしたい」とあいさつ。日本国民救援会の吉田進悟さんが事件の経過を報告した後、浄心寺住職が読経、犠牲者の冥福を祈りました。

『治安維持法と現代』2010年秋季号(10月30日発売予定)は、「普天間基地撤去と沖縄の心」

(仮) 〓 中村圭吾、「戦後強制抑留者特別措置法(シベリア特措法)制定と今後の課題」 〓 有光健、「空襲被害者の救済と補償を求め全国空襲連絡会が発足」 〓 星野弘

減がねらうもの」 〓 田中隆、「核兵器廃絶が現実的課題に」 〓 安井

「レッド・ページ60周年に思う」 〓 日弁連が救済を勧告」 〓 犀川三郎

正和、「朝鮮植民地支配に対する日韓人民の闘い」 〓 増本一彦、「国家保安法反対の韓国の闘い」

「実証・治安維持法弾圧」関係は、「帝国陸軍兵士に反戦を呼びかけた久木興次郎」 〓 西田清、「プロレタリア文化運動と共産党再建運動の道半ばで獄死した池田勇作」

池田道正、「戦争反対、自由と

カラ―刷りの「入会申込書」ができました。各県本部に注文を(無料)

事務局日誌

9月5日 亀戸事件八七周年集会
9月9日 国際人権活動日本委員会幹事会

9月28日 「レッド・ページ60周年」記念集会実行委員会

9月30日 日本国際法律家協会理事

第40回赤旗まつり

中央舞台広場に

同盟のテントを設営します

11月6日(土)、7日(日)東京・夢の島公園で開かれる赤旗まつり会場の中央舞台に向かつて左、中央テ線後援会のテント街に、「レッド・ページ全国連絡センターと治安維持法同盟」の合同テントを設営します。ぜひ、お立ち寄りください。

各県本部に注文を(無料)

事会